

男女共同参画会議 第16回重点方針専門調査会	資料11
平成30年9月26日	

(通し番号167)

「女性活躍加速のための重点方針 2018」

Ⅱ あらゆる分野における女性の活躍

3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成

b) 女子中高生の理系分野への興味・関心の醸成

(文部科学省説明資料)

背景・課題

- 女性が科学技術分野に進む上で将来像が描きにくい。
- 自然科学系の学部・大学院に占める女性の割合は、人文・社会科学に比べて低い。
- 多様な視点や優れた発想を取り入れられ科学技術イノベーションを活性化させるためには、女性の活躍が不可欠。

【第5期科学技術基本計画】(抄) (平成28年11月22日 閣議決定)

・国は、次代を担う女性が科学技術イノベーションに関連して将来活躍できるよう、女子中高生やその保護者への科学技術系の進路に対する興味関心の理解を深める取組を推進するとともに、関係府省や産業界、学界、民間団体など産学官の連携を強化し、理工系分野での女性の活躍に関する社会一般からの理解の獲得を促進する。

【第4次男女共同参画基本計画】(抄) (平成27年12月27日 閣議決定)

・大学、研究機関、学術団体、企業等の協力の下、女子児童・生徒、保護者及び教員に対し、理工系選択のメリットに関する意識啓発、理工系分野の仕事内容、働き方及び理工系出身者のキャリアに関する理解を促す。

【未来投資戦略2018 —Society5.0の実現に向けた改革—】(抄) (平成30年6月15日閣議決定)

・女子生徒等の理系分野への進路選択を促進し、AIを含む先端的な分野における女性の活躍を推進するため、全国の地方公共団体・学校等における多様なロールモデルの提示、女子生徒を対象とした出前授業などの取組を行う。

事業概要

【事業の目的・目標】

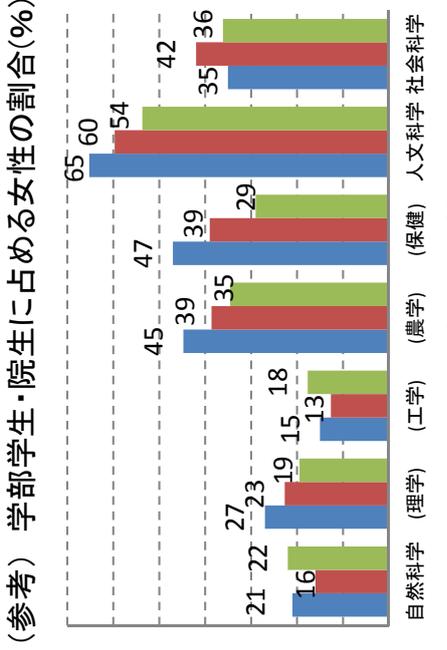
- ・女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切に理系進路を選択することが可能となるよう、地域で継続的に行われる取組を推進。
- ・女子中高生の適切な進路選択を通じた、女性の多様な分野での活躍。
- ・科学技術分野での女性の活躍により、我が国の科学技術イノベーションを推進。

【事業スキーム】



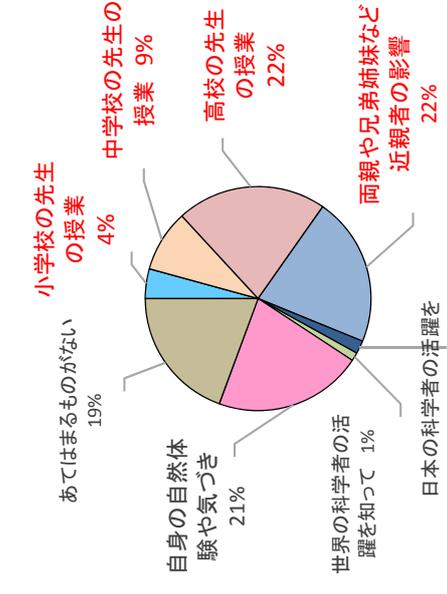
<取組内容の特徴>

1. 事業運営の基盤を構築
産学官連携により、女性の活躍に関する社会全体の理解を促進、多様なロールモデルを提示。
2. 文理選択に迷う生徒の興味を喚起
シンポジウム・実験等に加え、積極的な学校訪問によるワークショップ等を実施。理系の進路選択に関心が薄い層や文理選択に迷う層に対する、興味関心の喚起。幅広い視点からの進路選択に寄与。
3. 保護者・教員等へのアプローチ
進路選択に大きな影響を与える保護者や教員向けの取組を積極的実施し、興味関心の早期定着を図る。
4. 市区町村規模の設定
地域を絞った活動を行うことで、新たな機関の参加を促進。市区町村教育委員会と連携し、学校行事への活用や学校訪問機会の増加。支援終了後も規模を維持した事業継続を目指す。



平成29年度学校基本調査より作成 ※(保健)は医・歯・薬学系の合計

(参考) 女子学生が理系の進路を選択した理由



出典: 日本ロレアルによる「理系女子学生の満足度に関する意識調査」(平成28年8月)